

「NCAR×AWARE 女性アーティスト リサーチフェローシップ」
第1回 2026年度採択フェローを
4月15日(水)に東京日仏学院で発表

国立アートリサーチセンター（略称：NCAR、センター長：片岡真実）と AWARE: Archives of Women Artists, Research and Exhibitions, Centre Pompidou – Musée national d'art moderne（部門長：カミーユ・モリノー）は、2025年12月に共同で開始した「NCAR×AWARE 女性アーティストリサーチフェローシップ」において、2026年度（第1回）のフェローシップ採択研究（2件）を決定いたしました。採択されたフェローおよび研究課題の発表は、2026年4月15日に東京日仏学院にて行います（詳細は下記参照）。

本フェローシップは、日本国内に居住または滞在する研究者・キュレーター等を対象とし、視覚芸術分野で活躍し、日本に所縁を有する女性アーティスト（自身の性認識が女性又はノンバイナリーであるアーティスト）に関する研究を支援するものです。採択された研究課題1件につき、上限5,000ユーロ（5,000ユーロ相当の日本円額）の研究費を支給します。

第1回目となる2026年度フェローシップでは、2025年12月12日から2026年1月31日まで公募を実施し、国内外から多様な専門性を有する研究者・キュレーター等から応募が寄せられました。専門家6名による厳正な審査の結果、2件の研究課題を採択しました。フェローは、採択された研究課題に基づき、原則1年間（2026年4月から2027年3月まで）調査・研究活動を行います。研究成果は、NCARおよびAWARE公式ウェブサイトにて公開予定です。

本フェローシップを通じて NCAR と AWARE は、日本における女性アーティスト研究のさらなる活性化を図るとともに、国際的な研究基盤の形成および文化的多様性の推進に寄与してまいります。

【主催者コメント】

「近年、美術館のコレクションや展覧会におけるジェンダー・バランスへの意識が国際的な高まりを見せ、我が国の美術館においても不均衡の是正に向けた取り組みが始まっています。NCAR と AWARE は、こうした動きをさらに推進するため本フェローシップを立ちあげました。第1回目として、力強く興味深い研究計画書が数多く提出され、新しい世代の研究者が育っていることも実感できました。本事業が美術の歴史をより多層的に紐解き、多くの優れた才能に光が当てられることを心から楽しみにしています。」（片岡真実）

「日本に所縁のある女性アーティストの研究を推進し、その仕事に光を当てる取り組みにおいて、NCAR と連携できることを大変誇りに思います。彼女たちの芸術的実践への理解を深めることで、本フェローシップは新たな視点を浮かび上がらせ、より包摂的な美術史の語りを形づくる一助となるでしょう。長期的な取り組みとして構想された本プログラムは、彼女たちの貢献を国際的により広く紹介し、その評価と認知をさらに高めていくことを目指しています。」（カミーユ・モリノー）

◆AWARE (Archives of Women Artists, Research & Exhibitions, Centre Pompidou – Musée national d'art moderne) について (https://awarewomenartists.com/aware_japan/)

AWARE は、16 世紀から 21 世紀にかけて活躍した女性およびノンバイナリーのアーティストに関する知識を収集し、広く共有することに取り組んでいます。国際的なイベントの開催や、現在 1,400 本以上のアーティストの伝記的テキストを収録し、月間約 8 万人が訪問する 3 言語 (フランス語・英語・日本語) ウェブサイトの運営を通じて、彼女たちの創作活動に光を当てることを目的としています。2025 年、AWARE はその重要な研究およびアドボカシー活動をさらに推進・拡充するため、ポンピドゥー・センター国立近代美術館の組織内ユニットとして統合されました。

◆国立アートリサーチセンター (NCAR) について (<https://ncar.artmuseums.go.jp/>)

NCAR は「アートをつなげる、深める、広げる」をミッションに、日本のアートに関する情報収集と国内外への発信、コレクションの活用促進、人的ネットワークの構築、ラーニングの拡充、アーティストの支援など、わが国の美術館活動全体の充実に寄与する活動に取り組んでいます。

イベント概要

タイトル	NCAR×AWARE 女性アーティストリサーチフェローシップ 採択フェロー発表会
開催日時	2026 年 4 月 15 日 (水) 11:00~12:00 (終了後、ネットワーキングレセプションあり)
会場	東京日仏学院 (東京都新宿区市谷船河原町 15)
内容(予定)	主催者挨拶 (片岡真実、カミーユ・モリノー)、審査講評、 フェローシップ採択フェロー・研究課題紹介
参加定員	80 名 (予約優先)
言語	日本語、フランス語 (同時通訳)
主催	国立アートリサーチセンター、AWARE: Archives of Women Artists, Research and Exhibitions, Centre Pompidou – Musée national d'art moderne
共催	在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ
協賛	キャシー松井、フランスにおける日本人アーティスト滞在プログラム「メゾン・コチミ」との連携におけるベル・アルドゥア・アド・アストラ基金
申込方法	https://forms.gle/TBkVuTFQ5tP6GKRD8



<報道関係のお問合せ先>

株式会社いろいろ 担当：市川、西山、原口
E-mail: press@iroiroiroiro.jp

フランス : Agence Dezarts
E-mail : agence@dezarts.fr

<NCAR ウェブサイト>
<https://ncar.artmuseums.go.jp/>

<AWARE ウェブサイト>
https://awarewomenartists.com/aware_japan/

Code de champ modifié